

2024年10月23日

新型 Audi Q6 Sportback e-tron：エキサイティングなデザインとモデルファミリー最長の一充電走行距離を誇る

- 華々しさ：完全電動の Sportback は、感性に訴えるダイナミックなデザインと広いインテリアが特徴
- 効率的：空気に優れたボディデザインにより、最長 656km の一充電走行距離を実現
- 魅力的：83kWh バッテリーを搭載したエントリーモデルを、プレミアムミッドレンジセグメントの電動モデルファミリーの追加オプションとして導入

(ドイツ本国発表資料) 2024年10月14日、インゴルシュタット：アウディは、最も人気の高いボディデザインのひとつである Sportback 仕様の、Q6 Sportback e-tron を導入し、電動モデルのラインアップを拡大します。アウディの象徴的で力強い SUV デザインが特徴の Q6 SUV e-tron に、Sportback の魅力を融合させ、完璧に近いプロポーションが一層際立っています。その結果、より進歩的でスポーティなシルエットとなり、特にデザイン志向のお客様を魅きつけます。Q6 Sportback e-tron は、PPE (プレミアム プラットフォーム エレクトリック) のパフォーマンス、一充電走行距離、効率、充電というすでに馴染みのあるこれらの強みを備え、PPE の拡張性を裏付けています。Q6 Sportback e-tron performance は、ダイナミックなリヤのスタイルと、それに伴う空力特性の向上により、Q6 シリーズの中で最長の一充電走行距離 656km を実現します。

アウディは、パリモーターショー2024 で Q6 Sportback e-tron を世界初公開します。AUDI AG CEO ゲルノート デールナー (Gernot Döllner) は、「この新型モデルは、私たちの次世代電気自動車の多様性を示しています。Sportback 仕様は、電動モデルポートフォリオの拡大における次のステップです。Audi Q6 Sportback e-tron は、効率、一充電走行距離、パフォーマンスという新しい電動モデルの強みを、独自のボディデザインによる、魅力的で機能的なデザインと融合させています」と述べています。

ダイナミックな外観を持つ Sportback は、SUV の広さとクーペの優雅さを兼ね備えています。スポーティで表現力豊かなこの電気自動車は、511 リットルのラゲッジコンパートメントと 64 リットルのフロントトランク (フランク) を備えています。リヤシートを折りたたむと、ラゲッジ容量は最大 1,373 リットルまで拡大します。2,899mm の長いホイールベースにより、室内スペースがリヤシートに及ぶまで十分に確保されており、25 リットルの便利な収納スペースも備えています。また、Q6 Sportback e-tron quattro は最大 2,400kg (その他の駆動仕様は 2,000 kg) の高い牽引能力を誇り、日常使用にも妥協しない実用性を提供します。

電動 Q6 Sportback とその SUV バリエーションの市場導入時には、10 モジュールを備えた総容量 83 kWh (正味容量: 75.8 kWh) のバッテリー仕様も用意されます。これにより、quattro 四輪駆動と S モデルに加え、Q6 Sportback e-tron には後輪駆動の 2 つの仕様も提供され、Q6 e-tron ファミリーの強力な電動モーターの全ポートフォリオをカバーします。

Q6 Sportback e-tron performance は、空気抵抗係数 0.26 (SUV 仕様は 0.28) という空力的なボディデザインで、総容量 100 kWh (正味容量 94.9 kWh) の大型バッテリーを搭載した全長 4,771mm、全幅 1,965mm (ミラーを除く)、全高 1,665mm というサイズは、SUV 仕様よりも 37mm 低く、最長 656km の一充電走行距離を誇ります。これにより Sportback は、Q6 e-tron シリーズの中で最も長い一充電走行距離を実現するモデルとなります。

スポーティなキャラクターを強調する印象的な外観デザイン

初代 Audi TT Coupé のアイコン的なデザインを思わせる Sportback の傾斜したルーフラインは、スポーティな美しさをさらに際立たせています。そのシルエットは優雅に流れ水滴のような流線形を描きます。デザインチームはルーフ全体をデザイン見直し、A ピラーから始め Sportback の全体の車高は SUV 仕様よりも 37mm 低くなりました。これにより SUV のクラシックなプロポーションに Sportback 独自のダイナミズムとエレガンスが加わり、Q6 Sportback e-tron は静止していても、明確なスポーティさを放っています。

グリーンハウスは、力強いボディに対して、より低く、引き締まった形状を持っています。その柔らかな曲線は、ボディの鋭いラインやエッジと意図的に対比され、ダイナミックな陰影を生み出しています。フラットなリヤウィンドウは、3つ目のブレーキランプを組み込んだ独立したエッジで終わり、リヤのテールライトから後部ドアまで伸びる力強いラインが quattro プリスターの上部と、ホイールアーチ上の幅広いショルダーを際立たせます。リヤウィンドウはダイナミックに上向きにカーブしており、これはすべてのアウディの Sportback に共通する特徴です。この小さなディテールにより、車両はさらにダイナミックな印象を与え、周囲のアルミ調トリムがこのディテールを一層強調しています。

垂直に構えたフロントデザインが、完全に閉じた立体的なシングルフレームの印象を際立たせています。セレナイトシルバーまたはハイグロスブラックのマスクが、サイドエアインテークを包み込みます。高い位置に配置されたデジタルデイトタイムランニングライトにより、Q6 Sportback e-tron は際立った存在感を放ちます。

SUV 仕様よりもダイナミックに絞り込まれたリヤは、スポーティなエレガンスと力強さを融合させています。e-tron GT ファミリーとの類似点も明確で、途切れなく続くライトストリップと広々としたクリアなリアアーキテクチャは、アウディならではのクリーンでバランスの取れたデザインを Sportback に与えています。

乗員に細かく配慮されたインテリア

Q6 Sportback e-tron のインテリアは、これまで以上に乗員のニーズに合わせてシステムチックにデザインされています。インテリアデザインの初期段階から、素材の特性が慎重に検討されました。アウディ MMI パノラマディスプレイと MMI パッセンジャーディスプレイが組み合わせることで、視覚的に印象的なデジタルステージが形成されます。高いコントラストをもつインテリアデザインは、要素を意図的に前景または背景に配置し、美学と乗員に合わせた人間工学のバランスの取れた三次元的な空間構造を生み出しています。

インテリアの雰囲気は、極めて親密な空間を強調しています。ダイナミックインタラクションライトは、車両と乗員の間のやり取りをサポートする多くのコミュニケーション機能を提供します。このライトは、インテリアとコックピットを大きなアーチで包み込みます。いわゆる「ソフトラップ」は、ドアからコックピット全体を通じてセンターコンソールまで続き、一貫性のある心地よい空間感覚を作り出します。その色合いや高品質な素材には、Argument ファブリックや Dinamica マイクロファイバーなど、リサイクル素材を使用したものも含まれており、シートにも同じく採用されています。S line 仕様では、リサイクル素材で作られた Elastic Melange ファブリックがソフトラップに使用されています。ルーファイニング、ピラー、サンバイザーは、100%リサイクルポリエステルで作られた「Draft」ファブリックが使われています。アウディは、応用面でも持続可能性を重視しています。例えば、S line 仕様や S モデルを購入するお客様は、リサイクル素材で作られたテクニカルファブリック Anthracite を選択できるほか、生産時の廃棄物を減らすよう最適化された Birch Wood Linear Stone Grey ナチュラルを選ぶことも可能です。

市場投入時に利用可能な充実した駆動およびバッテリーのバリエーション

Q6 Sportback e-tron には、2種類のバッテリーサイズと2つの駆動バリエーションが用意されています。エントリーモデルでも 83kWh の高電圧バッテリー（正味容量：75.8kWh）を搭載して、電動 Sportback の自信に満ちた走行性能を提示します。後輪駆動の Q6 Sportback e-tron は、185kW (252PS) の出力を持ち、ローンチコントロールモードでは、0-100km/h 加速を 7.0 秒で達成します。

後輪駆動の Audi Q6 Sportback e-tron performance は、100kWh バッテリー（正味容量：94.9kWh）を搭載し、出力は 225kW (306PS) で、ローンチコントロールモードでは 0-100km/h 加速を 6.6 秒で達成します。システム出力 285kW (387PS) の Q6 Sportback e-tron quattro は、0-100km/h 加速を 5.9 秒で実現します。

最もパワフルなバージョンである SQ6 Sportback e-tron は、前後軸に2つの電動モーターを搭載し、システム出力は 360kW (489PS) で、ローンチコントロールモードでは、わずか 4.3 秒で 100km/h に

到達します。また、リヤ駆動の Audi Q6 Sportback e-tron performance は、大容量のバッテリーにより最長で 656km の一充電走行距離を実現しています。

83kWh バッテリーを搭載したモデルは、最長で 545km の一充電走行距離を誇ります。quattro 四輪駆動モデルでは最長 636km、同じく quattro 四輪駆動の SQ6 Sportback e-tron では 607km の走行が可能です。

Q6 Sportback の全てのバリエーションは、最高速度が 210km/h に固定されています。SQ6 Sportback e-tron は、最高速度 230km/h を誇ります。

高度な HV バッテリーのサーマルマネジメントシステムと 800V 電気システムにより、充電性能も際立っています。例えば、Audi Q6 Sportback e-tron performance は、理想的な条件下で、最大 270kW の充電出力をもつ高速充電ステーションを利用すると、わずか 10 分で最長 265km の一充電走行距離を充電することができます。高電圧バッテリーの 10% から 80% までの充電は 22 分で完了します。S モデルも最大 270kW で充電可能であり、リヤ駆動のバリエーションでは、100kWh バッテリー搭載モデルが最大 260kW、83kWh バッテリー搭載モデルが最大 225kW で高速充電が可能です。

Sportback のスポーティなキャラクターにマッチする走行ダイナミクス

Q6 Sportback e-tron の進歩的でスポーティなデザインは、その走行ダイナミクスと調和しています。Audi は Q6 e-tron シリーズのために、サスペンションシステムや多くのコンポーネントを新たに開発しました。再設計されたフロントアクスルは、この電動 Sportback の走行ダイナミクスを大幅に向上させています。SUV と同様、Sportback のトレーリングアームは、走行方向に向かってタイロッドの前方に配置されています。最適化されたアクスルキネマティクスにより、走行ダイナミクスが著しく向上し、同時にステアリングの応答性が改善しています。特にサブフレームがステアリングをしっかりと固定するため、車両ははるかに俊敏に反応します。

ステアリングのデザインと新しいソフトウェアモジュールによる制御は、新しいフロントアクスルと組み合わせることで、走行状況や路面状況について、ステアリングホイールを通じてより多くのフィードバックを連続的に提供し、Sportback の機敏性をさらに高めています。後輪駆動志向のセッティングにより、駆動システム全体で可変性の高い四輪駆動分配が実現し、Q6 Sportback e-tron の走行ダイナミクスをさらに向上させています。quattro 四輪駆動仕様では、前後アクスルに搭載された異なるサイズの電動モーターにより、フルロード時でも後輪駆動志向のトルク分配が可能です。

新しいパッシブダンピングシステム「FSD」(Frequency Selective Damping) は、Audi Q6 Sportback e-tron を路面に密着させます。石畳の上をダイナミックに走行する際など、より多くのダンピングが必要な状況では、システムが車体の動きをコントロールし、動的な走行操作中に乗り心地を向上させます。可変ダンピング機能を備えたアダプティブエアサスペンションは、レベルコントロールを介して荷重を補正し、さまざまな荷重条件下でも一定の車高を維持します。

Euro NCAP で 5 つ星評価と子供の乗員保護における「クラス最高」のスコアを獲得

Q6 e-tron は、著名な欧州消費者保護団体である Euro NCAP (欧州新車評価プログラム) において最高評価の 5 つ星を獲得しました。この車両は、大人の乗員保護、子供の乗員保護、事故のリスクにさらされやすい歩行者、セーフティアシストの各カテゴリで、優れた成績をおさめました。大人の乗員保護においては、91% という満点に近いスコアを記録しており、最適な保護を提供することを示しています。Q6 e-tron は、オーディオとして初めて事故後の安全機能 (初動対応者向けの救助データシートや eCall など) に関するテストを受け、その結果、非常に高い評価を得ました。

子供の乗員保護においては 92% のスコアを記録し、Audi Q6 e-tron モデルファミリーは、2023 年および 2024 年にテストされたすべての車両の中で現在ベストインクラスとされています。この優れた結果は法的要件を超える機能によるものです。例えば、Q6 e-tron は、後部に 2 つ、前の助手席に 1 つの合計 3 つの i-Size シートを提供する数少ないモデルの一つです。i-Size は、2013 年に導入された欧州の安全基準で、チャイルドシートと車両の完全な互換性を保証します。Q6 e-tron の助手席には、後向きの子供用チャイルドシートを使用する際に、助手席エアバッグを自動的に無効にするスマートな車両機能がありま

す。チャイルドシートの使用を想定した固定システムはさらに改善され、すべての年齢の子供に最適な保護を提供します。

最先端のライティングテクノロジー

アクティブデジタルライトシグネチャーは、Audi 独自のデザインと美学を象徴しています。第2世代のデジタル OLED リヤライトは、特別に開発されたアルゴリズムを使用して、10 ミリ秒ごとに新しい画像を生成する6つの360セグメント OLED パネルを備えており、ライトに鮮やかで知的な外観を与えています。前面では、12の調光可能なセグメントとのアルゴリズムの相互作用によってアクティブデジタルライトシグネチャーが生成され、リヤではすべてのデジタル OLED セグメントが使用されます。各ライトセグメントは相互に作用し、ライトシグネチャー全体の光の強度は変化しません。

第2世代のデジタル OLED 技術は、新しい Audi モデルの外観の一部として、その機能の範囲を大幅に広げます。これにより、道路上の安全も向上します。デジタル OLED リヤライト 2.0 のコミュニケーションライトがその例です。この機能は、他の道路利用者に事故や故障を警告します。危険な道路状況では、通常のリヤライトグラフィックに加え、特定の静的なリヤライトシグネチャーと組み込まれた警告シンボルを表示します。Audi Q6 Sportback e-tron は、パーソナライズの新たな基準も設定しています。マトリクス LED ヘッドライトとデジタル OLED リヤライト 2.0 のアップデートされたデイトムランニングライトには、最大8つのデジタルライトシグネチャー（選択した装備レベルにより異なる）が選択可能で、ドライバーは自分の Sportback の外観をパーソナライズできます。これは、MMI または myAudi アプリを通じて行います。

デジタルステージ: 新しいディスプレイおよび操作コンセプト

Q6 Sportback e-tron は、その SUV モデルと同様に、A6 e-tron、A5、Q5 シリーズのモデルと同じ新しいディスプレイおよび操作コンセプトを搭載しています。ソフトラップの上には、Audi MMI パノラマディスプレイと MMI パッセンジャーディスプレイによるデジタルステージが備わり、内装の中心を占めています。スリムで独立した Audi MMI パノラマディスプレイは、曲線的なデザインと OLED 技術を採用しており、11.9 インチの Audi バーチャルコックピットと 14.5 インチの MMI タッチディスプレイで構成されています。アクティブプライバシーモードを備えたオプションの 10.9 インチ MMI パッセンジャーディスプレイもデジタルステージの一部です。

オプションの拡張現実ヘッドアップディスプレイ (AR HUD) は、Audi のディスプレイテクノロジーの大きな進展を示しています。この革新的なディスプレイは、フロントガラスに傾斜がついた大きな画像平面を投影し、運転者に速度、交通標識、アシスト、ナビゲーションアイコンなどの重要な情報を提供します。画像平面は、自然な視点に合わせて前方に傾斜し、AR 体験を向上させています。この傾斜と大きな仮想画像距離により、表示情報が 200 m 先に浮いているように見え、環境と直接相互作用しているような印象を与えます。運転者の視点からは、AR コンテンツの視野は約 88 インチの対角線に広がっています。

さらに、Audi はボイスコントロールオプションを大幅に拡張しました。ドライバーは Audi のセルフラーニング型音声アシスタント「Audi アシスタント」を使用して、多くの車両機能を制御できます。この AI サポートを受けたデジタルアシスタントは、車両に深く統合され、アバターとして表現されています。新しい音声アシスタントは、800 以上の音声コマンドを認識します。車両機能を実行するのか、目的地を検索するのか、あるいは天気予報を提供するのかを、ChatGPT によって拡張された Audi アシスタントが自動的に認識します。Audi のシステムは、一般的な知識に関する質問に対して応答できない場合のみ、ChatGPT に質問を転送します。乗客はすべての機能が Audi アシスタントに統合されているため、シームレスな体験を楽しむことができます。さらに、ChatGPT は車両データへアクセスすることなく、すべての質問と回答は削除され、データを保護します。この機能の基盤となっているのは、ソフトウェア専門企業 Cerence による Cerence Chat Pro ソリューションで、ChatGPT を含むさまざまな情報源を統合しています。

新しいエン터테인먼트システムは、初めて Android Automotive OS を使用しています。強化された e-tron ルートプランナーなど、最新の Audi connect サービスが搭載されています。YouTube などの人気アプリは、MMI に直接埋め込まれたサードパーティアプリのストアを通じて利用可能で、スマート

フォンを必要としません。新しいアプリは定期的に提供され、Q6 Sportback e-tron のデジタル機能を最大限に引き出します。

Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステムは、素晴らしい 3D サウンド体験を提供します。このシステムの中心には高効率のアンプがあり、合計出力 830 W で 20 個のスピーカーを駆動します。前席のヘッドレストには 4 つのスピーカーが統合されており、Audi は初めて「サウンドゾーン」を導入しました。

市場導入

Q6 Sportback e-tron と SQ6 Sportback e-tron は、Audi のインゴルシュタット本社工場で、ネットカーボンニュートラル*に製造されます。これらのモデルは 2024 年から 2025 年にかけてオーダー可能となる予定です。

*アウディにおけるネットゼロカーボンエミッションの解釈は、あらゆる削減策を取り入れた後、アウディの車両または活動によって排出されるカーボン、および/またはアウディのサプライチェーン、生産、リサイクルにおいて現時点では回避できないカーボンの排出を、世界各地で実行する自主的なオフセットプロジェクトを通じて相殺するというものです。この文脈では、車両の使用段階、すなわち顧客に納車した時点から発生するカーボン排出量は考慮されません。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12 カ国 21 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2023 年、アウディ グループは、190 万台のアウディ、13,560 台のベントレー、10,112 台のランボルギーニ、および 58,224 台のドゥカティを販売しました。2023 会計年度において、アウディ グループは総収益 699 億ユーロ、営業利益 63 億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは 2023 年に 87,000 人以上が働き、そのうち 53,000 人以上がドイツの AUDI AG で働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
